

'71

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 595 号

1971.3.23 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

会報はご家族みんなで読みましょう

〆隔りを取り除こう〆

出席報告

本日の出席	会 員 数	61名
	出 席 数	40名
	出 席 率	65.57%

欠 席 者 阿宗君、阿部(襄)君、長谷川(文)君、早坂(徳)君、林君、池内君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、伊藤君、金野君、今間君、金井君、三井(徹)君、廖君、斎藤(栄)君、斎藤(信)君、篠原君、高橋君、富樫君、鷺田君、藪田君

前回の出席	前回出席率	73.77%
	修正出席数	52名
	確定出席率	85.52%

マークアップ 阿宗君一新庄RC
林君一酒田RC
阿部(公)君、池内君、海東君、岩網君、中山君一鶴岡西RC

ビジター 五十嵐正雄君一鶴岡西RC

会長報告

先の例会で、林先生の退職のことで親睦委員会を通じ、日程があれば送別会を催すようなことをお諮りいたしました。このことを林先生に申しましたところ、先生は卒業式を了えられてから直ちに山形仙台を廻り東京にお帰りになるとのことで、本月一杯は在京なさるそうです。4月1日に帰られますが、いろいろの都合があり、日程の繰合せがつかないとのことでした。大変有難いことですが会員の皆様によりしく申し上げてくれと申されたので、残念ながら、送別会の企画は取りやめることにいたします。

次に粕川さんから一言挨拶ねがいます。

退会の挨拶 粕川文男君

私は、今度の人事移動により、4月1日付をもって、本部の方に転出することになりました。私が当地に参ったのは、恰度2年前でその当時は初めての土地でもあり、不案内のことも多く少からず焦燥感にかられてまいりました。

しかし、幸にも皆様の御好意により、赴任当時から当ロータリークラブに入会させていただいたので、会員の皆様からは勿論のこと

会員各位を通じ、いろんな方々とも顔見知りになりました。また会員の方々から当地の土地柄なり、あるいは人柄なりを種々承ることを得て、私の当初もっていた不安が、なくなりお蔭様で今日までたのしく過ごさせていただいたことを厚く御礼申し上げます。

私がロータリアンになったのは、鶴岡にきてはじめてで、それだけにロータリークラブが誰彼の差別なくお互に考えかたの共通するものが、このように和やかに会合をもつことをはじめて経験したので、私の為には極めて得がたい経験であったと考えております。

ただ心残りとするのは、私の意に反して、短い期間で転出しなければならぬことになりましたこと。あるいはゴルフ場が近くにあるにも係らず、最後まで腕が上達しなかったということでもあります。

転出といっても、山形であるので、おそらく皆様も御出張などにより山形に出向く機会が多いと存じますので、その節は是非お立寄りいただき昔倍の御厚情をいただきたいと存じます。

なお後任の支店長は、新潟の出身で、新潟大学を卒業し当行に参ったのですが、鶴岡とは縁の深い新潟出身であるので、私同様よろしく御指導御鞭撻のほどをおねがいします。

短期間何ら為すところもなく、むしろ皆様方には足手まといの形でおわかりましたことを誠に残念に存じます。この点悪しからず御容赦いただき今後ともよろしくねがいます。

簡単ですが、お別れに際しての御挨拶いたします。

上記挨拶の後小池会長より在会中特に本年度の苦しい予算の中で、会計の方を担当していただいたことに関し感謝の辞があった。

青少年委員会と老人問題について

早坂源四郎君

先程会長さんから、何かスピーチするように呼びかけられましたが、何も用意しておりません。今度私がクラブの青少年委員になることになりました。それについて先日の例会で、青少年のことで何か一寸出たときに佐藤さんが、青少年問題も大事だが、老人問題も大事だという言葉がありました。それで、今日の私の問題提起は老人問題であります。

先ず第一に老人とは何を指すかということとです。要するに何才が老人に属するかということとです。私は現在満66才でも、自分では未だ老人意識はありません。家内も60才位の年令ですが、婆というとしかれますので、つとめてそんな言葉は使わぬようにしております。老人とは何ぞや、次には老人の福祉対策とは何ぞや、老人ホームに行つて老人の慰問をするのが老人福祉対策かどうか、次には老人の健康問題、こういう点について一々皆様の御意見を伺いたいと思います。

次にロータリークラブとして、老人問題を扱うとすれば、如何なる委員会に属すべきか。これは勿論社会奉仕委員会ではないか。ところが次の三井委員長の会長のとときに私ははじめて青少年委員会に入りますが、青少年委員会で扱って悪いかどうかという問題です。これは逆のように考えられます。青少年委員会で、老人問題ということ。今の青少年委員会からインターアクトに委員会が分離しているので、青少年委員会のする仕事はボーイスカウトのことをやるのかどうか。今ロータリーで扱っている青少年委員会というのはインターアクトにしぼっておるということで安藤さんなどは特に御意見があると思います。

そもそも青少年委員会というのは、社会奉仕委員会から分離独立したものであり、さらに青少年委員会からインターアクト委員会が分離独立したもので、分化作用が発揮されております。この問題と勘案して老人問題を青少年委員会で扱うのも面白いではないかというような気もいたします。この点につき石黒先生、佐藤さん、安藤さんいろいろ御意見があると思います。芳網さん如何でしょうか、どうぞ皆様の活発な意見を伺わせていただきたいと思ひます。

張 紹淵君

老人は何才からだという貴重な問題が提起されましたが、その定義には種々と採ることが出来ます。素朴な定義としては戸籍をみれば何才からという風にすぐわかります。また新聞その他の記事でも老人はいくつからと記しております。老化の現象をおこすのは年令的には27才～28才からで、そうだからといって27才～28才というのはとんでもないことで

す。私は老人の年令を定義づけて話をすると長くなりますが、かいつまんで申し上げますと、戸籍上60幾才というのは老人の標準にはなりません。これは各々に個体差があるからです。老人クラブで後援されていることで癌かどうかと、また老化とはどのような生理状態かというについて10数年前から委嘱を受けて、保健所の衛生係に連れられて田舎の公民館などで講話してきました。

集ってくる老人の顔を見ると、皆60才以上70才以上の人達でも、顔を見ると30才〜40才の方が沢山居られます。しかし老人だということは言えず、結局老人は個体差があるのでよく調べても年令的に様には云えない事です。ですからどうぞ気持ち若くしていることが老人でないということの証左と言えます。即ち若々しい気持ちでいる限り老人ではないというだけは言明出来ることと思います。

もう一つ私の経験を申し上げますと、小さい時からみたりしている人の事ですが、田舎に向くと、お前赤ん坊であったがこんなに大きくなったかというようなことに出合います。あたりをみるとどうも段々老化して、毛髪もうすくなったり白くなったりして随分ふけてみえるなあというような感じがしますが、人の事はどうもおかしく、自分のことは未だ20才〜30才位の気持ちでいるような感じがします。他人の老人の風はわかるが、自分の老人のことはわからぬものです。

学界も近ずいておりますが、来る3月28日に世界社会奉仕の日となっております。ひょっとしたら私が留守になっていて、皆様のご計画をたてるに必要な計画企画やパンフレットが国際奉仕委員長にきておるが、それに出席出来ず残念に思っております。

ちょっとそれにふれて2〜3申し上げたいと思います。

私が小花先生のあとを受けて、世界社会奉仕の担当をやっておりますが、仲々当初わからず、今でも本当はわかっておらず困っております。それで此間アンケートをとってみようということで、一つアンケートをとってみました。世界社会奉仕は皆さんどういことが出来るかという大きな問題がとり上げられ地区の社会奉仕の国際社会奉仕部門でデスカッションしました。

それを総合し、それを書き上げて印刷し、各ロータリークラブに全部お返して、このよ

うになったということを報告しております。

その中で気づいたことを2、3申し上げ、今年の世界社会奉仕の、それから国際奉仕、それにオーストラリア行きの事にふれてみることにします。

世界社会奉仕では、どういうことが一番出来るかとアンケートをとった結果を申し上げますと、一番たやすいことからですが、古い切手を贈ることで、一年に577万円の金額が、ネパールの結核の患者に使われておるので、それでこれを続けたいと思います。それから花の種を贈ることなど、見舞状を機会があったら差出すことが多く採り入れられているようです。変わったことといえば保原ロータリークラブですが、目下ベトナムの方を看護婦として養成して国に帰すことを盛んにやっております。クラブ対クラブでよくやって行くために世界社会奉仕の計画というパンフレットがありますが、それをみて、各ロータリークラブが、実施にうつしているようでありま

す。ロータリークラブの意見の中で、こんなことがありました。印度に顕微鏡を送ったりするなどよりも、国内に無医村が沢山あるからそちらの方に金を使ったらどうかということです。無医村のこともさることながら、時と場合によっては、そうでなくクラブはどのようにすすむべきかということを広い視界にたつて、臨機応変に処置しなければならぬと思います。即ちクラブの予算を勘案し国内外の両方に世界奉仕出来るように取り組むのが本筋だという意見がもつとも思います。ただ国内の無医村だけとし、印度には贈らなくともいいでないかというようなことでなく両方に手を廻すようになさることを望みます。

世界社会奉仕の担当となると、世界社会奉仕、社会奉仕といわれますが、決してそういうものでなく、世界社会奉仕は、ロータリークラブの真の役割を忘れずに、ロータリーの基本的な特色があるのです。ロータリーの目的を失わず、ロータリーの福祉のためになるように、そして世界社会奉仕にどの位参与すべきであるかというようなことを考えるべきです。

世界社会奉仕の地区としては、各クラブ対クラブ、世界社会奉仕がやれるように延長するというだけです。

何かあったら世界社会奉仕の方に手をお借

りしたいとしたら、私の方とか委員会の方にクラブから通知をもらい、そして援助してやるというようなことが言われています。

以上が世界社会奉仕の話です。

私は家内と、また家内が病弱のため付添として私の姪とがオーストラリアの世界大会に参ります。それから嶺岸さんがその妹さんがオーストラリアのラジオ放送局につとめており3年滞在のところで既に2年にすぎておりますので、これらの関係もあって嶺岸さんも同行されることになりました。

どうしてオーストラリアに行くかと云うと穴沢バスターガバナーが353地区を東にして国際奉仕をやることとし、また大会のついでに各地区クラブを訪問して親善をよりよく大きくしようということで、これは非常にいいことだと考え共鳴して行くことになりました。

私達はクラブ訪問コースを採り26名が一組となっているようです。他の多くの方々と合同することが出来ぬのを残念に思っております。しかしメルボルンとかシドニーなどで一緒にになります。次に、ストウエルというロータリークラブは、私がクラブの会長のときに向のリンゼさんがこちらを訪問しているので、そのお返しに行ってみようという気になりました。クラブから何かメッセージでもいただければ有難いと存じております。ストウエルには12日～14日まで3日間滞在する予定です。あれは金曜日の夜の例会ですが、そんなもので婦人も2～3人行くので呼び寄せることにしております。もっとも婦人も一緒に連る例会ではないらしいときいております。

またもっと大会にいたかったのですが、団体になると時間的な制約もあって、ゆっくり出来ず、シドニーにもう一つの会、国際外科会といい4人の友人もおりどうしようかと思っているが考慮中です。

このように行くことになりましたが、クラブとして、どういう風にしていただき、僕等はどのような風になればいいかということをご指導いただければ幸に存じます。

例会変更案内

天童RC 3月27日(土) PM5.00

(クラブ創立記念日のため)

東頁荏原RC 高輪プリンスホテル

4月7日以降

創立10周年記念式典の案内

花輪RC 5月23日(日)

八幡平湯瀬温泉 湯瀬ホテル

チャーターナイト案内

最上RC 5月2日(日)

新庄農高校向町分校

4月10日まで本申込

幹事報告

会報到着 山形西RC、山形RC、
八戸RC、八戸東RC、
長井RC、天童RC